まきばでひとやすみ。

来春には小学校に上がる予定の娘ですが、このところずっと「学校行きたくない」「学校行かない」と言っていて、お！次男の再来！と思っていました。親の方も特に不安になったり焦ることもなく、まあ行きたくないなら、ホームスクールでもいいし、教会塾もいいぞ、と思ってランドセルもまだ買ってもおらず。もちろん、ホームスクールとなると親の覚悟と準備がかなり必要となるのですが…最善の道を神様は示してくれるだろう、と思いつつ、11月に就学前健診があり、娘と共に行ってきました。受付や、待つ教室で周りの子たちの様子をじっと見ている娘。小さな心で色々考えたり、観察しているんだなぁ…といじらしくなりました。慣れない場所や人の前では話したり歌ったりできなくなる娘、1対1の面談（簡単な検査）で話せるかなぁ…と心配していましたが、戻ってきた娘の表情は晴れやかで、なんと「明日も来たい！」との言葉。これにはびっくりでした。

この日の午前中は、教会の親子広場のお手伝いがあり、私は1人向かう道すがら、その親子広場が娘が生まれて3ヶ月後にスタートし、4年間がっつり通った日々に思いを巡らしていました。小さな娘を連れ2人で行っていたのが、年中さんから幼稚園に入り、私は1人でお手伝いに行くようになり、その娘は間もなく小学生…胸がいっぱいになって子どもが成長していく早さに淋しさと切なさを感じました。今、幼稚園で聖誕祭の練習をしている娘、前は皆の前で歌うのはイヤだ、と言ったり、手を挙げて何かを話すのも苦手、振られると泣いてしまう…という様子だったのが、最近になって1人で歌うことも手を挙げて話すこともするようになったとか。（家ではめちゃめちゃうるさいのに）先生から聞いて思わず涙。彼女なりに色んな事を考えつつ小さな山をがんばって登ってるんだな、と。さて、やっとこランドセルを選ぼうかね、とのんびり腰を上げたところです。

ロバ子